



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL <http://www.mammymart.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	29,328	3.5	775	33.4	895	31.0	563	30.7
2019年9月期第1四半期	28,348	4.3	581	△39.9	683	△36.6	431	△37.4

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 560百万円 (53.1%) 2019年9月期第1四半期 366百万円 (△49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	52.61	—
2019年9月期第1四半期	39.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第1四半期	60,474	23,948	39.6	2,250.07
2019年9月期	55,119	23,871	43.3	2,209.43

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 23,926百万円 2019年9月期 23,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	57,000	3.7	900	△29.5	1,150	△23.1	730	△24.1	68.64
通期	111,600	2.4	1,658	0.9	2,139	1.0	1,100	57.8	103.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1 Q	10,796,793株	2019年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	2020年9月期1 Q	162,955株	2019年9月期	1,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1 Q	10,714,338株	2019年9月期1 Q	10,794,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における小売業界を取り巻く経営環境は、長期化する米中貿易摩擦など海外経済の減速、人手不足による人件費の増加、物流コストの上昇など、今後の経済動向はさらなる不安定な要素を含んでおります。また2019年10月に実施された消費税増税により消費者の購買行動に大きな変化が表れ、業種・業態を超えた競争は、ますます厳しくなっております。

このような環境の中、当社グループは、「Enjoy Life!」を基本方針として、「お客様に満足いただける持続的な成長店舗作り」をメインテーマに、「基盤の整備」、「人財育成」、「生産性改善」、「商品力強化」の4つを重点項目に施策を進めてまいりました。

[基盤の整備]

お客様が買い物をしやすい環境、従業員が働きやすい環境づくりの一環として、前期から継続して、通常の店舗内外装の修繕に加え、作業場、休憩室、トイレ等の改修を実施しました。

また、各店舗の什器備品整理・統一の計画策定、全部署の業務棚卸を進めたほか、セミセルフレジの導入店舗を増やすなど、業務効率化・人手不足解消に努めてまいりました。

[人財育成]

「M3活動」を通して、自ら考え行動する集団の形成に取り組んでまいりました。また、社内講座「思わずお客様に話したくなる たべもの学」によって、従業員の食と健康に関する知識を深め、お客様と積極的に対話できる人財育成を進めました。

[生産性改善]

業務見直しとマニュアル改定を進めており、ムダ・ムリ・ムラの排除や情報の整備等による作業効率の改善を進めてまいりました。

[商品力強化]

独自性向上のため、当社グループのオリジナル商品の売上構成拡大を図り、結果として収益力も向上しました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおきまして、2019年11月に川口安行店（埼玉県川口市）、坂戸入西店（同坂戸市）を改装オープンいたしました。当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め78店舗であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高29,328百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益775百万円（同33.4%増）、経常利益895百万円（同31.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は563百万円（同30.7%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第1四半期連結累計期間は、売上高29,211百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益770百万円（同34.9%増）となりました。

[その他の事業]

売上高117百万円（前年同期比12.7%減）、セグメント利益5百万円（同49.2%減）となりました。

(注) 「Enjoy Life!」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。

「M3」とは、My Mami Martの略で、自分たちの会社をより良い会社にしようとする、全従業員参加型のプロジェクトです。

「思わずお客様に話したくなる たべもの学」とは、食と健康に関する知識を深めるために、全従業員が受けることができる社内講座です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より5,354百万円増加し60,474万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関休業日であることに伴う現金及び預金の留保によるもの、売掛金の増加であります。

負債は、前連結会計年度末より5,277百万円増加し36,525百万円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し23,948百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました「2019年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,936	6,469
売掛金	1,289	2,140
商品	2,749	3,155
貯蔵品	15	14
その他	1,373	1,840
流動資産合計	8,364	13,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,779	11,943
機械装置及び運搬具(純額)	171	185
土地	20,868	20,868
リース資産(純額)	321	311
建設仮勘定	747	676
その他(純額)	1,254	1,365
有形固定資産合計	35,142	35,350
無形固定資産	132	124
投資その他の資産		
投資有価証券	226	215
長期貸付金	240	231
差入保証金	7,481	7,414
賃貸不動産(純額)	366	366
繰延税金資産	2,336	2,320
その他	829	830
投資その他の資産合計	11,480	11,379
固定資産合計	46,755	46,853
資産合計	55,119	60,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,220	12,721
短期借入金	6,540	40
1年内返済予定の長期借入金	4,086	5,390
リース債務	158	158
未払費用	2,623	2,633
未払法人税等	341	357
賞与引当金	468	142
資産除去債務	98	61
その他	663	916
流動負債合計	21,200	22,421
固定負債		
長期借入金	4,864	8,928
リース債務	1,182	1,142
長期預り保証金	1,513	1,529
転貸損失引当金	16	10
役員退職慰労引当金	333	343
退職給付に係る負債	1,259	1,271
資産除去債務	836	838
その他	42	41
固定負債合計	10,048	14,104
負債合計	31,248	36,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	18,407	18,776
自己株式	△2	△292
株主資本合計	23,926	24,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△27
退職給付に係る調整累計額	△55	△51
その他の包括利益累計額合計	△75	△79
非支配株主持分	20	21
純資産合計	23,871	23,948
負債純資産合計	55,119	60,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	28,348	29,328
売上原価	21,041	21,748
売上総利益	7,307	7,580
営業収入	341	335
営業総利益	7,648	7,916
販売費及び一般管理費	7,066	7,140
営業利益	581	775
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	4	3
不動産賃貸料	65	57
受取手数料	48	48
その他	40	57
営業外収益合計	172	180
営業外費用		
支払利息	11	10
不動産賃貸費用	58	50
その他	0	0
営業外費用合計	70	61
経常利益	683	895
特別損失		
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	683	892
法人税等	250	328
四半期純利益	432	564
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	431	563

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	432	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△7
退職給付に係る調整額	△3	3
その他の包括利益合計	△65	△3
四半期包括利益	366	560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365	560
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することについて決議し、当第1四半期連結累計期間に次のとおり実施いたしました。なお、当該自己株式の取得は2019年11月15日をもって終了しております。

1. 自己株式の取得を行った理由

企業価値及び株主価値向上について継続的に検討を行っており、当該検討に基づく施策の一環として、経営環境の変化に対応すること、また、当社グループの成長を促進するためのインセンティブ・プラン等、機動的な資本政策を可能とするため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得した株式の種類	当社普通株式
(2) 取得した株式の総数	161,000株
(3) 株式の取得価額の総額	289,317,000円
(4) 取得日	2019年11月15日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	28,214	134	28,348	—	28,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	28,214	134	28,349	△0	28,348
セグメント利益	570	10	581	—	581

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	29,211	117	29,328	—	29,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	29,211	117	29,328	△0	29,328
セグメント利益	770	5	775	—	775

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。